

## R2 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
1	曾我部町自治会	交通安全対策について ①府道東掛小林線 六穴寺前交差点の改良について ②市道西條重利線 国道423号交差点から重利倶楽部までの拡幅をしてほしい。	① 府道東掛小林線は、国道372号と国道423号を結ぶ幹線道路となっており、通学路にも指定されています。その大部分は歩道がなく、特に当該六穴寺前交差点は府道がクランク状に折れた見通しが悪い状況にあります。 こうした状況の中、以前(平成27年頃)には、自治会から京都府南丹土木事務所に対しまして、当該路線の歩道設置要望がされ、ポストコーンを設置するなど一定の対応がなされた箇所もありますが、児童の安全安心を守るためにも、安全対策を図っていくことは必要となります。 今後、積極的に地元と連携しながら京都府に対し、交差点改良を実施いただくよう強く要望してまいりたいと考えております。 ② 国道423号と重利区集落(重利倶楽部付近)間約170mを幅員5mへ拡幅すべく、平成30年度より事業化を図り、国の社会資本整備総合交付金制度を活用したうえで、早期の事業着手に向け取り組んでいるところです。 今年度の事業内容としては、道路詳細設計を行うべく予算計上を行ったところですが、国からの交付金が不十分ながら本事業に割り当てられたことから、事業実施に向けた測量等の業務委託を発注し、道路拡幅計画を定めていく予定です。測量の結果をふまえ用地取得など、事業実施にむけた準備を進め、事業進捗を図ってまいりたいと考えています。 次年度以降も事業進捗が図れるよう国や府に対し要望を行い、予算確保に努めてまいります。	まちづくり推進部事業担当部長	①:④要望 ②:②実施 予定	①令和2年10月13日に京都府南丹土木事務所長に対し、自治会から要望書を提出され、本市から副申書を提出しました。今後も引き続き、地元とともに京都府へ働きかけてまいります。 ②こん談会時の回答のとおりです。
2	曾我部町自治会	【質問事項等:①について】 ポストコーンは車の離合も難しい。近くの住民から自宅や家屋を提供しようと地域住民が協力しようとしている。西條区としても持ち帰って検討し、ぜひとも対応していきたい。	府道なので、地権者からの協力、自治会からの要請を受けたということで、京都府へ要望してまいります。測量調査を行い、金額や補償など、府へシミュレーションをしていただくようあわせて要望してまいります。	市長 (まちづくり推進部事業担当部長)	④要望	こん談会時の回答のとおりです。

## R2 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
3	曾我部町自治会	災害発生時に避難所開設にあたり、コロナ対策等の市と自主防災会との連携について	<p>現在、体温計や間仕切り、段ボールベッドをはじめ、避難所でのコロナ対策に必要な資機材について、鋭意調達を進めているところです。</p> <p>発熱や自覚症状のある方等、感染の疑いがある方については、健康福祉部とも連携しながら一般の避難者とは距離を置いた場所に隔離するなどの措置を講じたいと考えています。</p> <p>曾我部町公民館の収容定員は、通常55人を計画しているところ、新型コロナウイルス対策として避難所の間隔を開けた場合、定員は概ね半数になると考えられます。そのため、避難者の動向を見ながらにはなりますが、通常より早い段階で曾我部小学校の開設準備を始めたいと考えています。</p> <p>小学校の避難所開設準備及び運営には人手が必要となり、市の開設要員だけでは対応できないため、自治会・自主防災会の皆さんの御協力が必要となります。</p> <p>今後、具体的な方法等について相談させていただきながら進めてまいりたいと考えております。あわせて、各区の公民館等、地域の施設を一時避難所として活用していただくなど、分散避難に御協力いただきますようお願いいたします。</p>	総務部長	①実施	文書回答のとおりです
4	曾我部町自治会	【質問事項等】 小学校を避難所として活用する場合のシミュレーションはどうなっているのか	<p>避難所ごとに、マスク、フェイスガード、体温計などを設置する予定です。</p> <p>小学校の体育館には、組み立て式段ボールベッドやしきりを準備する予定です。加えて、家族での使用想定の中なかでテントでのプライベートルームの確保などさまざまな備品の調達や、市内の倉庫を活用し備品の分配や保管をしながら、柔軟に対応したいと考えております。</p>	市長 (総務部長)	①実施	文書回答のとおりです
5	曾我部町自治会	【質問事項等】 避難所を開設するにあたり、体調が悪い(熱があるなど)人の対応は、避難所としてどうするのか。	<p>消防組合では、コロナの疑いの人も搬送実績があり、加えて、亀岡市立病院で発熱外来があるので、入院やコロナの検査も対応可能です。</p> <p>緊急性が高い場合は、大部屋ではなく個室の活用などで対応していきたいと考えています。</p>	市長 (総務部長)	①実施	文書回答のとおりです

## R2 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
6	曾我部町 自治会	【質問事項等】 垂直避難の推奨やコロナが怖いから避難しなかったなど、従来の災害時の「避難所に集まる」という考え方は違い、自宅、車など避難方法の種類が増えている。 その中で、安否確認をするにあたってどのように考えているのか。	市ですべて確認は難しいため、自治会や区や消防団などの協力をもって確認してまいります。	市長 (総務部長)	③検討	文書回答のとおりです